

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	重症心身障がい児童型デイサービス みいすけっと			
○保護者評価実施期間	令和 7 年 2 月 4 日 ～ 令和 7 年 2 月 17 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○従業者評価実施期間	令和 7 年 2 月 18 日 ～ 令和 7 年 2 月 27 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数)	12名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 2 月 28 日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	設備等のハード面およびスタッフ配置等のソフト面において、必要十分な環境・体制が整備できている。	経験豊富な人材の登用、多職種に及ぶ人員の配置、余裕を持ったスタッフ配置数と空間の確保など、利用者様にとって手厚い対応が可能な状況と、安全・安心かつ楽しく過ごしていただける環境作りを心がけている。	積極的な人材の確保と育成、手厚い対応が可能となる人員の配置、安全・安心に繋がる環境整備について、今後も継続して取り組んでいく。
2	スタッフ間での積極的な意見交換を日々の支援に活かすとともに、職員全体の資質向上とより良い支援の実施に繋げている。	外部機関にご協力いただき、実際の現場でのケースをもとに定期的な事例検討を通じて常に業務の見直しと改善に取り組んでいる。また、人材育成の面でも定期的な研修等の実施により、職員の資質向上とより良いチームアプローチが提供できるよう取り組んでいる。	法人内における他事業所の事例なども情報共有しつつ、定期的な研修を実施しながら、日々の業務改善と職員の資質向上、人材育成、より良いチームアプローチの実践に向けて、今後も引き続き取り組んでいく。
3	利用者様毎にアセスメントを実施し、保護者様からの情報も参考に個性のある支援プログラムの実施や日々の取り組みについて、チーム全体で共有しつつ実践している。	毎日の朝と夕にミーティングを行い、その日の利用者様毎の支援内容の確認、職員間での意見交換、目標設定と振り返りを実施している。また、保護者様とも積極的に情報を共有しながら、日々の変化に柔軟に対応できるよう心がけている。	経験や年数に関係なく、スタッフ間で幅広い意見の収集と積極的なディスカッション、保護者様との密なやり取りを通して、利用者様毎に個性のある支援プログラムの提供と実施ができるよう、今後も継続的に取り組んでいく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の中で他のこどもと活動する機会や、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援について、現状では実施できていない。	重症心身障がい児童を対象とした施設形態のため、利用者様の全身状態の変動や各種感染症によるリスク等を考慮し、現状では積極的な実施を控えている現状にある。	保護者様の現状や、他施設や事業所でどのような形で取り組まれているかなど、各地域における現状と情報収集に努めており、今後の状況に合わせてより良い形での実施を検討していく。
2	ご家族様に対するペアレント・トレーニングや研修の機会について、現状では実施できていない。	重症心身障がい児童を対象とした施設形態であり、利用者様ごとに基礎疾患や全身状態にも個人差があるため、集団的な研修という形では未実施の状況である。	保護者様ごとで状況に違いがあるため、より個性性の高い支援を重視し、日々の気づきや変化等を家族様に随時共有しながら、ペアレント・トレーニングに替えての支援を提供している。他施設や事業所でどのように取り組まれているかなど、各地域の現状と情報収集に努めており、状況に合わせてより良い形での機会提供について検討していく。
3	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営について、現状では実施できていない。	重症心身障がい児童を対象とした施設形態のため、利用者様の全身状態の変動や各種感染症によるリスク等を考慮し、不特定多数の出入りを控えている現状にある。	他施設や事業所でどのような形で取り組まれているかなど、各地域における現状と情報収集に努めており、今後の状況に合わせてより良い形での実施を検討していく。

公表

## 保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 重症心身障がい児童型デイサービス みいすけっと

公表日 令和 7 年 3 月 31 日

利用児童数 4名

回収数 4名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3	1				契約前に必ず施設見学と説明および体験利用を実施しているが、よりご理解いただける伝え方を検討していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3			1		連絡帳への活動内容の記載、送迎時の口頭での伝達、様子が分かる写真の送付など情報共有に努めているが、より伝わりやすい方法も検討していく。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3			1		季節毎の活動をスケジュールの配布や送迎時に口頭でお伝えしているが、より分かりやすい伝達を検討していく。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。			1	3		全身状態の変動や各種感染症によるリスクを考慮し積極的な実施を控えているが、状況に合わせて検討していく。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。			1	3		日々の気づきや支援内容、情報等を家族様へ随時お伝えしているが、より良い形での機会提供を検討していく。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	4					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3	1				送迎時以外も近況について電話等で聞き取りを行い、より良い支援に繋がる助言と育児負担の軽減に努めていく。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			3	1		全身状態の変動や各種感染症によるリスク等を考慮し現状では積極的な実施を控えているが、状況に合わせてより良い形での機会提供を検討していく。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3	1				モニタリング時期の面談以外にも、リハビリ見学など直接顔合わせの機会を設けている。また、早急な対応が必要な時には、電話やLINEなどのツールを使い、迅速な対応を心がけている。

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	1			3		月に1度スケジュール表を発行し、事前に活動内容や行事予定をお伝えしている。また、活動の様子がわかる写真を各ご家庭に毎月お送りしている。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2			2		各種マニュアルを策定し、定期的な研修・訓練を実施している。保護者様への周知方法についても検討していく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。		1		3		災害時マニュアルを策定し、定期的な研修・訓練を実施している。保護者様への周知方法について検討していく。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3	1				契約時に安全への配置についてお伝えし、ご利用時の安全確保に細心の注意を払いつつ日々の支援に努めている。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3			1		支援中の些細な変化を含め怪我等が発生した際はすぐに保護者様へ連絡し、迅速な状況説明と対応に努めている。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	4					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	4					
	29	事業所の支援に満足していますか。	4					

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
重症心身障がい児童型デイサービス みいすけっと		令和 7 年 3 月 31 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12		個々の状態に合わせて適切なスペースを確保できるよう、日々の利用定員に配慮している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12		個々に丁寧な対応が可能となるよう、余裕のあるスタッフ配置を心掛けている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12		医療機器や各種機材、物品の配置、導線の確保など、個々の障害特性に対応できるよう随時検討し、環境整備に努めている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12		感染対策を常に意識し、日々のケアや活動において安全かつ清潔で心地よく過ごす環境作りに配慮している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12		カーテンやスクリーンによる間仕切りの実施など、必要に応じて環境を調整できるように工夫している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	12		日々の情報共有により全スタッフが現状を把握しながら、状況に合わせて振り返りと目標設定ができるよう努めている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12		保護者様からの回答やご意見をもとに現状把握に努め、日々の業務改善につながるよう心掛けている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12		日々のミーティングの中でスタッフの意見を収集し、業務に反映できるよう努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	12			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12		月に1回の研修の実施や、現場の状況に合わせて研修を開催している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12		事業者および保護者様の自己評価集結果と、自己評価総括表の内容をもとに支援プログラムを考案・作成し、公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	12		個々のこどもの状況把握に加え、保護者様からも面談等で情報収集し、客観的かつ総合的な視点から支援計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12		作成した個別支援計画の原案をもとにスタッフ間で協議し、各々の意見の反映や共通理解の促進に努めている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12		スタッフ間での協議のもと、最終的に個別支援計画を作成し、日々の支援に反映させている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12		日々の様子観察をもとに、個々の障害特性をふまえての適切な現状把握ができるよう心掛けている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12		ガイドラインをもとに、個々の障害特性をふまえて具体的な支援内容が適切に設定できるよう努めている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12		月間スケジュールの中で週ごとにどのような活動プログラムを実施するか、スタッフ間で検討のうえ実施している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12		季節のイベントなども考慮しながら、日々の活動プログラムに変化を出せるよう工夫している。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	12			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12		毎朝のミーティングを実施している。不在のスタッフがいる場合は、個別で申し送りを実施し情報共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12		毎日の業務終了時のミーティングを実施している。不在のスタッフがいる場合は、個別で申し送りを実施し情報共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12		毎日のケース記録を作成し、日々の変化を把握できるように努めながら、支援内容の検証と改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12		定期的にケース記録の振り返りを実施し、支援内容の検証と見直しができるよう努めている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12		個々の状態変化や保護者様からのご相談、相談支援員からの問い合わせ等、必要に応じた各種関係機関との連携に努めている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	12			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		12	他施設や事業所でどのような形で取り組まれているかなど、各地域における現状と情報収集に努めている。	個々の全身状態の変動や各種感染症によるリスクを考慮し積極的な実施を控えているが、状況に合わせて検討していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12		送迎時や面談時などに保護者様へ日々の気づきや支援内容をお伝えし、現状や課題などについての共通理解を図っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		12	日々の気づきや支援内容、情報等を家族様に随時お伝えしている。	個々の基礎疾患や全身状態に個性が強く、集団的な研修としては未実施だが、より良い形での機会提供を検討していく。
保	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12		送迎時や面談時などに保護者様の意見を聴かせていただき、個別計画の作成や日々の支援内容に反映できるよう努めている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	12		個別支援計画書について必ず保護者様に口頭で説明し、内容に同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12		送迎時や面談時など保護者様からいただく相談に対し、スタッフ間で協議のうえ適切な助言や支援ができるよう努めている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		12	保護者様の現状や、他施設や事業所でどのような形で取り組まれているかなど、各地域における現状と情報収集に努めている。	保護者様ごとで状況に違いがあり、より個別性の高い支援を重視しているため、現状では積極的な実施を控えているが、より良い形で機会提供を検討していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12		送迎時や面談時など保護者様からいただくご意見に対し、スタッフ間で協議のうえ迅速かつ適切に対応できるよう努めている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12		月間スケジュールの事前配布、事業所内での活動の様子を撮影し保護者様へ月単位で送信するなど、情報発信を心掛けている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12		鍵付きの書庫を使用し、書類等の管理に十分留意している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12		個々の障害特性や家庭事情に応じ、誰に・いつ・どこで・どのような形で伝達や情報共有が適切かについて配慮している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		12	他施設や事業所でどのような形で取り組まれているかなど、各地域における現状と情報収集に努めている。	個々の全身状態の変動や各種感染症によるリスクを考慮し、不特定多数の出入りを控えているが、状況に合わせ検討していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12		それぞれのマニュアルを作成し周知するとともに、随時の見直しや委員会の開催、研修や訓練の機会を設けている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12		業務継続計画（BCP）を作成し周知するとともに、随時の見直しや定期的な訓練の機会を設けている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12		体験利用時や契約時に保護者様から事前の情報共有をいただくとともに、日々の変化を含めた状況把握と確認を実施している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12		半年ごとに医師の指示書をいただくとともに、保護者様からの日々の情報共有もふまえての適切な対応を実施している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12		安全計画マニュアルを作成し周知するとともに、必要に応じ研修や訓練機会を設け随時の見直しと日々の支援につなげている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12		月ごとのヒヤリハットを作成のうえ、対策も併せて全スタッフで共有し、再発防止を心掛けている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12		虐待防止マニュアルを作成し周知するとともに、随時の見直しや委員会の開催、研修の機会を設けている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		12	身体拘束マニュアルを作成し周知するとともに、随時の見直しや委員会の開催、研修の機会を設けている。	現状では身体拘束の必要性が認められる利用者がいないため、今後必要となった際に実施していく。